

トピックス

●国内外の展示会に出展

GrindingHub 2022

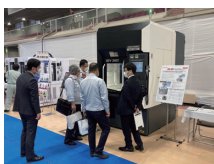
開催日：2022年5月17日～20日
開催地：ドイツ・シュツットガルト
出展機：立形複合研削盤「CVG-6」



海外での販売の拡大に向け、海外のお客様に当社製品「立形研削盤」の技術力をアピールする絶好の場となりました。

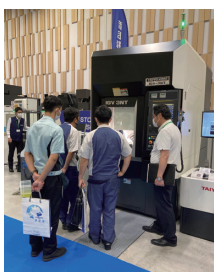
STF昭栄テクニカルフェア

開催日：2022年4月21日～22日
開催地：新潟県・三条市
出展機：立形複合研削盤「IGV-3NT」



株共和工機プライベートショー

開催日：2022年7月28日～29日
開催地：静岡県・沼津市
出展機：立形複合研削盤「IGV-3NT」



今後とも積極的に展示会へ出展し、世界中のお客様へ向けて、当社製品の更なる拡販を推し進めてまいります。

●現本社工場の有効活用

中長期の経営目標としている「2030年 売上高200億円」を達成すべく、今後の生産能力の拡大や生産効率の向上を図るため、5月に現本社工場及び大型機組立工場のリース資産の買取りを行いました。

今後は現本社工場及び大型機組立工場の有効活用をするとともに、2025年度までに建設予定の新工場計画を含めた生産体制の強化を進めてまいります。



(2022年6月30日現在)

会社概要

●設立年月日	1986年3月14日	●ネットワーク	
●資本金	700,328,200円	国内拠点	本社・工場(長岡) 東部営業所(さいたま) 中部営業所(名古屋) 西部営業所(大阪)
●発行可能株式総数	18,000,000株	海外拠点	中国(上海) アメリカ(シカゴ) ヨーロッパ
●発行済株式の総数	5,956,400株		
●本社所在地	新潟県長岡市西陵町 221番35		
●従業員	247名		
●主な事業内容	工作機械(各種研削盤)の 開発・製造及び販売		
●株主メモ			
事業年度	1月1日～12月31日		
期末配当金 受領株主確定日	12月31日		
中間配当金 受領株主確定日	6月30日		
定時株主総会	毎年3月		
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社		
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 TEL 0120-782-031 (通話料無料)		
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場		
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.taiyokoki.com (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)		

Webサイトのご紹介

<https://www.taiyokoki.com>



当社ではWebサイトに当社の企業情報を随時開示しています。製品情報や当社の取り組み等を掲載しているほか、IR情報のページでは決算短信等をご覧いただけます。



関連サイト YouTubeチャンネルのご紹介



関連サイトとして、当社のYouTubeチャンネルを開設しております。当社の会社紹介、立形研削盤を始めとした各種研削盤の加工動画等をご覧いただけます。



TAIYO KOKI
One machine, One answer

第38期 [中間期]

2022年1月1日 ▶ 2022年6月30日



BUSINESS REPORT



株主の皆様へ



株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社における第38期中間期(2022年1月1日から2022年6月30日まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ここにご報告を申し上げます。ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2022年9月

代表取締役社長 渡辺 剛

当中間期(第2四半期)の営業概況

当第2四半期累計期間の工作機械業界は、日本工作機械工業会が発表した工作機械受注実績(2022年1月1日から2022年6月30日まで)が前年同期比で29.8%増加しました。

工作機械業界を取り巻く経済環境は、ウクライナ・ロシア情勢、記録的な円安、半導体を始めとした様々な製品の不足や原材料価格の高騰などにより先行きが不透明な状況が継続しております。一方で、世界的な設備投資需要の拡大を背景に、日本工作機械工業会の月間受注高が1,500億円を4か月連続で上回るなど好調に推移しております。

当社の受注状況も引き続き好調に推移し、受注高は前年同期比78.8%増と大幅に伸ばしました。地域別には、前年同期比で日本111.4%増、米州68.4%増、アジア(中国を除く)401.9%増と好調に推移しております。中国市場においては、第1四半期は前年同期比マイナスでありましたが、当第2四半期累計では前年同期比6.5%のプラスに転じております。業種別には、産業機械・工作機械関連が引き続き好調であるほか、自動車関連や半導体関連の引合・受注が増加している状況です。また、中国市場の回復が牽引し建設機械関連も受注増となりました。

また、売上高は前年同期比54.7%増、営業利益は前年同期比276.2%増といずれも伸ばしました。生産リードタイムの短縮による早期検収に最大限注力している状況ですが、それを上回る受注状況を背景に、当第2四半期末の受注残高は約65億円(前年同期末比約2.0倍、当期初比約1.3倍)となりました。引き続き期中の売上・利益の積み上げを図ってまいります。

当第2四半期累計期間の受注高は6,094,863千円(前年同期比78.8%増)となりました。

売上高につきましては、4,379,918千円(前年同期比54.7%増)となりました。損益につきましては、営業利益485,324千円(前年同期比276.2%増)、経常利益486,946千円(前年同期比162.5%増)、四半期純利益328,686千円(前年同期比165.9%増)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当中間期の業績

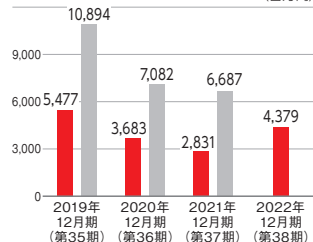
売上高
43億79百万円

営業利益
4億85百万円

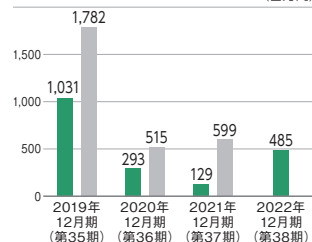
経常利益
4億86百万円

四半期純利益
3億28百万円

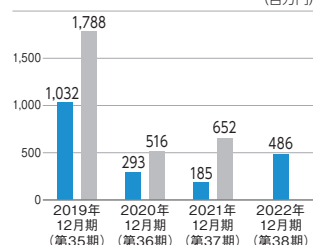
売上高 (百万円)



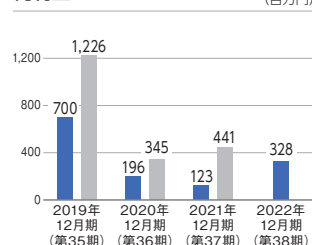
営業利益 (百万円)



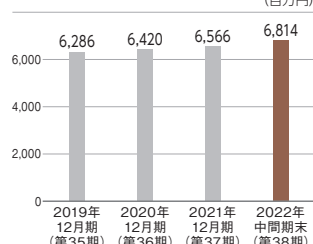
経常利益 (百万円)



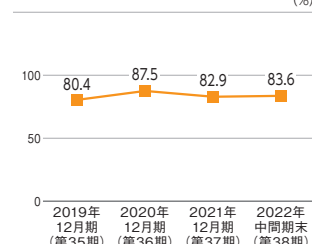
純利益 (百万円)



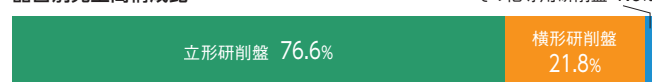
純資産 (百万円)



自己資本比率 (%)



品目別売上高構成比



財務諸表

(注)金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位:千円)

科目	前期末 2021年12月31日現在	当中間期末 2022年6月30日現在
【資産の部】		
流動資産	6,790,302	5,790,528
固定資産	1,129,885	2,359,580
(有形固定資産)	(904,910)	(2,110,849)
(無形固定資産)	(54,848)	(100,331)
(投資その他の資産)	(170,126)	(148,399)
資産合計	7,920,188	8,150,109
【負債の部】		
流動負債	1,353,911	1,336,013
負債合計	1,353,911	1,336,013
【純資産の部】		
株主資本	6,566,276	6,814,096
資本金	700,328	700,328
資本剰余金	532,994	533,292
利益剰余金	5,452,608	5,693,525
自己株式	△119,654	△113,050
純資産合計	6,566,276	6,814,096
負債純資産合計	7,920,188	8,150,109

損益計算書

(単位:千円)

科目	前中間期 自2021年1月1日 至2021年6月30日	当中間期 自2022年1月1日 至2022年6月30日
売上高	2,831,642	4,379,918
売上原価	2,129,946	3,190,167
売上総利益	701,696	1,189,750
販売費及び一般管理費	572,691	704,425
営業利益	129,004	485,324
営業外収益	63,093	8,835
営業外費用	6,615	7,213
経常利益	185,483	486,946
税引前四半期純利益	185,483	486,946
法人税等合計	61,871	158,259
四半期純利益	123,611	328,686